

第7回

京都大学人文科学研究所

# TOKYO 漢籍 SEMINAR

# 俗書の啓蒙力



- 1 書 儀 — 中世の文章作成マニュアル 永田知之
- 2 善 書 — 華僑・華人の人生訓 山崎 岳
- 3 日用類書 — 庶民生活の科学知識 武田時昌

2011年 9月2日(金) 10時30分より16時まで  
 学生会館 2階 210号室(千代田区神田錦町3丁目28番地)

●会場への交通機関  
 ・都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車A9出口より徒歩1分  
 ・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口より徒歩5分  
 ●申込及び問合せ先  
 参加を希望される方は、「漢籍セミナー申込み」と明記し、氏名・所属・連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)等をご記入の上、下記宛先へはがき(E-mail又はFAX可)にてお申し込み下さい。折返し参加可否のご連絡をはがきにて差し上げます。

京都大学人文科学研究所 附属東アジア人文情報学研究センター  
 〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町47 電話:075-753-6997 FAX:075-753-6999  
 E-mail: kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp

聴講無料



# 第7回 京都大学人文科学研究所 TOKYO 漢籍 SEMINAR

## 総合テーマ 「俗書の啓蒙力」

2011年9月2日(金) 於 学士会館

### ●今回の概要

書物の読まれ方は様々である。大儒の哲学書や文学作品の傑作が、当初から多くの読者を獲得したわけではない。その逆に、通俗的で雑駁な内容でも、当時の知識人や庶民に広く親しまれた一群の書物がある。とりわけ、指南書、教訓書、啓蒙書は、読者に実用的で役立つ情報、生き抜く知恵を提供し、ハッピーライフに欠かせないアイテムだった。

時を超えて輝く大著、名作に比べてずっとマイナーな存在であるが、社会啓蒙という立場から見れば、むしろ通俗的な書物のほうが大きな作用を發揮した側面もある。そしてまた、きわめて特徴的な中国的思考をそこに窺うことができる。

本年度のセミナーは、漢籍のなかの俗書にスポットを当て、その内容的特色を紹介しながら、世俗における「知」の諸相を探る。

### ●プログラム

- 10:30~10:45 開会挨拶  
    麥谷邦夫(センター長, 人文科学研究所教授)
- 10:45~12:00 講演「書 儀——中世の文章作成マニュアル」  
    永田知之(センター助教)
- 12:00~13:10 休 憩
- 13:10~14:25 講演「善 書——華僑・華人の人生訓」  
    山崎 岳(センター助教)
- 14:25~14:40 休 憩
- 14:40~15:55 講演「日用類書——庶民生活の科学知識」  
    武田時昌(センター教授)
- 15:55~16:00 閉会挨拶

司会: 古勝 隆一(人文科学研究所准教授)

### ●参加定員

200名(申込み順) \*定員を超えた場合はお知らせします。

主催: 京都大学人文科学研究所 附属東アジア人文情報学研究センター

